

牛の個体識別データを届出する手段として提供しているシステムの概要

タイプ	届出手段	概要	届出の形態	登録所要日数	パソコン	農家同意			特徴		
						検索	代行報告				
							代行報告利用申請	情報提供			
農家向け	報告カード (FAX)	報告カードを家畜個体識別センターにFAXする	公衆回線	4~5日	×	/	×	×	<ul style="list-style-type: none"> FAXがあれば届出できる。 登録までに時間がかかる。 		
	電話音声応答システム (CTI)	電話のアナウンスに従って届出する	公衆回線 (ブッシュフォン)	当日 (*3)	×	/	×	×	<ul style="list-style-type: none"> 電話があれば届出できる。 受付時にエラーチェックができる 		
	PC (WEB) 報告システム	繋養牛の状況、在庫耳標が確認できるシステム		当日	○	/	○	×	<ul style="list-style-type: none"> 自農場の繋養牛の情報、在庫耳標が確認できる。 修正ができる 		
	届出Webシステム	複数の牛の届出ができるシステム	インターネット (*1)	当日	○	/	○	×	<ul style="list-style-type: none"> タブレットやスマートフォンで届出できる。 場所を選ばない。 		
	携帯電話報告システム	繋養牛の状況、在庫耳標が確認できるシステム		当日	×	/	○	×	<ul style="list-style-type: none"> 自農場の繋養牛の情報、在庫耳標が確認できる。 場所を選ばない。 		
団体向け 農協、大規模農家等	イントラ報告システム	FTP方式	ID連携システムとイントラL/Oシステムを統合、機能強化したシステム	イントラネット (*2)	翌日	○ (ハンディターミナル等)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ハンディターミナルの利用、代行報告、繋養牛リスト、ブロードバンド (*4) への対応。 DB方式は届出内容の修正機能がある。 		
		DB方式		イントラネット (*2)	翌日	○ (ハンディターミナル等)	○	○			
	システム	インターネット版	パソコンに届出内容を入力して、メールにて一括送信するシステム ハンディターミナルからの取り込みも可能	インターネット (*1)	当日 (*3)	○ (ハンディターミナル等)	/	○	×	<ul style="list-style-type: none"> インターネット環境だけで手軽に導入できる。 	
	ID連携システム (新規提供終了)	FTP版	耳標のバーコードをハンディターミナルに読み込んで、多数の異動報告を行うシステム				○ (ハンディターミナル等)	/	○	×	<ul style="list-style-type: none"> 読み取った牛個体識別番号の一括検索ができる。 エラーが少ない。
		家畜市場代行版	FTP版に加え、市場報告時に農家の転出報告を代行できるシステム	イントラネット (*2)	翌日	○ (ハンディターミナル等)	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 届出の事前チェック機能がある。 届出の修正が当日であれば可能。 同意農家の代行報告が可能。 	
フル代行版		家畜市場代行版に加え、すべての届出が可能 (出生・耳標再発行等) なシステム 但し、市場とと場は除く				○ (ハンディターミナル等)	○	○	○		

*1: プロバイダ経費、通信使用料自己負担 (既存環境で可)

○: 必要 ×: 不要

*2: 設置費用、ネットワーク使用料、通信使用料自己負担

*3: 届出した時刻によっては、登録が翌日になる場合があります。

*4: 設置費用 (機器導入含む)、ネットワーク使用料、通信使用料自己負担 < 実施検証中 >

*5: 代行による届出を行う場合、依頼する側とされる側双方で、代行することについて文書での取り交わしをお願いします。



一般社団法人家畜改良事業団

平成27年度家畜個体識別システム定着化事業